

こころのはな



休校中の道徳学習より

休校中の道徳科の家庭学習にご協力をいただき、ありがとうございました。各学年のお子さんの中から感想を紹介しします。今後も心豊かな大海っ子の成長を願い、家庭や地域とつながる道徳学習にご理解とご協力をお願いします。

学年	題 名	お 子 さ ん の 感 想
1年	たのしい がっこう (よりよい学校生活・ 集団生活の充実)	坂庄 陽 さん まだ、したことがないけど がっこうで やってみたいことが いっぱいあつた。ひとりでやっても たのしいけれど みんなでやったら もっとたのしい。おともだちと なかよくできるように やさしくしたい。
2年	金のおの (正直・誠実)	河合 音 さん しょうじきに いうと 気もちも はれます。
3年	足りない気持ち は何だろう (礼儀)	丹羽 愛徠 さん ちゃんと まわりを見て こうどうすることだと思いました。
4年	さち子の笑顔 (善悪の判断・自律・ 自由と責任)	浜野 愛莉 さん たとえ万引きにさそわれても、がんばってはっきりとことわることが言えてえらいと思いました。だめなことはしちゃだめだな。
5年	のび太に学ぼう (よりよく生きる喜び)	大多 遼 さん どんなことがあってもあきらめずに前を向いて生きていこうというのび太の決心がすごいと思いました。だから前向きにがんばろうと思いました。
6年	それじゃ、ダメ じゃん (個性の伸長)	鍛冶澤 市人 さん 春風亭昇太さんは、大学まで自分の短所をかくすことしかしていなかったけど、短所を長所にすることで自分の道が開けた。ぼくも伸ばすことを大切にしたい。

「親子の手紙」について

石川県では、「親子の手紙」という取り組みを毎年行っています。大海小学校でも、すべてのご家庭で取り組んでいただいています。日頃、なかなか口にできない親子のそれぞれの思いを「短い手紙」に表現することで、互いの気持ちを理解することや家族の話し合いを大切にしようとする心を高めていただきたいと思います。家庭のあたたかさや家族の会話の大切さなどをもとにした、心のかよう手紙をお待ちしています。学校でまとめて送りますので、用紙はそのまま、担任へ提出して下さい。

(締め切りは6月29日(月)です。)

この機会に大人から子どもへ、子どもから大人へ、普段なら言えない日ごろの思いを手紙に書いて伝え合ってみてはどうでしょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

